

先日の台風 10 号は公共交通への影響はありましたが、県民生活には大きな被害もなくよかったです。台風が来るといつも県民の安全はもちろん、農林水産業の被害が出ないことを願います。

色々な職種があるなか、自然災害で大きな被害が出るのは一次産業です。災害によってはその年の全収入、最悪の場合は翌年の収入まで失うこともあります。(昨年のみかんの雹被害等)

諸外国と比較して日本は食料自給率が低い中、一時産業を守ることはとても大事ですが、**後継者不足※**もあり、新規就労者を育てる取り組みは喫緊の大きな課題です。

※就労者平均年齢は農水共に 64 才従事者も 10 年前と比較し農業で 2 割、水産業で 4 割減となっています

## 台風 10 号による農林水産業被害状況 と 赤潮被害状況(6/26~7/16)

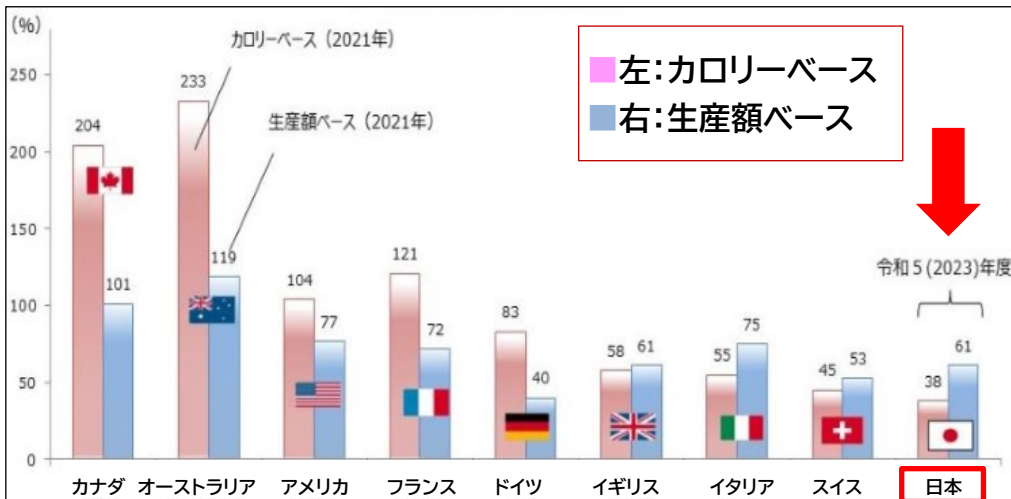
ハウス等施設	54,985,000
農作物等	13,976,000
農業用施設	294,000,000
<b>被害総額</b>	<b>362,961,000</b>

漁港関係施設 3件	43,000,000
養殖施設 4件	5,200,000
養殖魚等 1件	7,400,000
県・市の施設 7件	1,290,000
<b>被害総額(概算)</b>	<b>56,890,000</b>

赤潮 被害状況 (8月末時点の推定値:漁協からの聞き取り) ※2年続けての被害 昨年は 11 億円

漁協名(海域名)	推定被害尾数 (単位:尾)	推計被害金額 (単位:円)	へい死魚種
橘湾東部漁協(橘湾)	320,000	546,000,000	ブリ、ヒラマサ、シマアジ等
長崎市新三重漁協(西彼)	100,000	400,000,000	ブリ、ヒラマサ
新松浦漁協(伊万里湾)	70,000	572,000,000	クロマグロ、ブリ、ヒラマサ
その他(橘湾、西彼、九十九島)	60,000	80,000,000	ブリ、ヒラマサ、シマアジ、トラフグ等
<b>被害総額</b>	<b>570,000</b>	<b>1,597,000,000</b>	※四捨五入のため合計は一致しない

### ■日本と諸外国の食糧自給率



一次産業は本県の基幹産業であり、これまでもこれからも「一次産業を守り育てる」ことにしっかり取り組みます。そのためにも自然災害被害には迅速かつ最大限の支援に努めます。

今議会で「被害対策の補正予算」が計上されています。現場の声を届け議論します。

